



雪崩・地すべり 研究センターたより

第 85 号
2021 年 4 月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事

- ・今冬の雪をふりかえって
- ・地すべりに関する技術支援
- ・各種講演を行いました
- ・令和3年度研究テーマ
- ・新任者あいさつ
- ・令和3年度メンバー
- ・跳ね馬と桜



今冬の雪をふりかえって

今冬、2020/21 年冬期の前半は日本海側を中心に各地で記録的な大雪となりました。一方、1月下旬以降はまとまった降雪が少なく、平年より気温が高い日が続いたため、平野部では急速に雪解けが進みました。当センター構内では、1月に最大積雪深が2012年以来9年ぶりとなる251cmを記録した一方、消雪日は過去7年間（根雪とならなかった昨冬を除く）の平均とほぼ同じでした。

このように急速に雪解けが進むと、全層雪崩や融雪地すべりが発生する危険性が高まります。例えば新潟県では、年間に発生する地すべりの4割が融雪期である3～5月に発生しており¹⁾、今後も融雪に伴う災害に注意が必要です。



▲センター構内の積雪深 (2011/12 は欠測あり)

地すべりに関する技術支援

3月3日（発生確認は4日）、新潟県糸魚川市の来海沢（くるみさわ）地区で融雪に伴う大規模な地すべりが発生し、土砂が1km余りにわたって流れ下り家屋6棟が全半壊する被害が生じました。幸い人的被害はなかったものの、一時23世帯37名の方が避難し、4月16日現在でも9世帯19名の方が避難生活を余儀なくされています。

この災害に対し、当センターも構成員となっている新潟県地すべり対策研究会（学会、研究機関、NPO、行政機関により構成）では3月5日以降、複数回にわたり現地調査を行い、監視体制の構築や応急対策の実施などについて、新潟県に対して技術的助言を行いました。



▲地すべり発生域の現地調査 (3月25日)

各種講演を行いました

■2/8 湯沢砂防事務所 安全・施工研究発表会（湯沢町）

湯沢砂防事務所工事安全対策協議会の主催により、現場技術者を対象とした研究発表会が開催され、工事現場における雪崩対策について判田上席研究員が講演を行いました。

■2/13・23 親子雪崩防災教室（上越市）

新潟県・上越市の主催で、小学生と保護者を対象に、雪崩に関する防災教室が上越市の地すべり資料館で開かれ、判田上席研究員が過去の雪崩災害などについて紹介しました。

■3/11 全国地すべりがけ崩れ対策協議会 専門部会・全員協議会（WEB）

全国都道府県で構成され、地すべり・がけ崩れ・雪崩に関する調査研究を行う協議会の専門部会・全員協議会が開催され、雪崩部会において奥山主任研究員が今冬の雪についての話題提供を行いました。

令和3年度メンバー



上席研究員	判田 乾一	非常勤職員	飯塚真理子
主任研究員	奥山 悠木	非常勤職員	山本多加子
非常勤職員	渡辺 伸一	運 転 手	早津 稔
非常勤職員	富里加代子		

※令和2年度に在職していた上之和人専門研究員は、任期満了に伴い令和2年11月末で退職となりました。

令和3年度研究テーマ

今年度の雪崩と地すべりに関する研究は、それぞれ以下の課題を主要テーマとして取り組みます。

<雪崩>

- ・高精度空間情報を用いた雪崩の三次元計測に関する研究（重点研究：R元～R3）

<地すべり>

- ・広域融雪水量推定に基づく斜面災害発生リスク評価に関する研究（重点研究：H30～R4）
- ・三次元 CIM を活用した抑制工の配置計画手法に関する研究（基盤研究：R2～R4）

新任者あいさつ

■非常勤職員 渡辺伸一

昨年9月より非常勤職員として勤務しております渡辺と申します。前職は同じ妙高市内のコンサルタント会社で、雪氷や気象に関する業務に約30年にわたり携わってまいりました。



生まれも育ちも妙高で世間知らずではございますが、これまでの経験を活かし、当センターでの雪崩や地すべりの研究をしっかりとバックアップしてまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

跳ね馬と桜

雪解けとともに妙高山に現れ、春の訪れをつげる「跳ね馬」。例年4月中旬以降に見頃になりますが、今年は雪解けの早さを象徴するように4月上旬に姿を現し、桜との競演を楽しむことができました（写真は4月1日センターより撮影）。



（参考文献）

1) 新潟県砂防課：新潟県の砂防, p.18, 2014

バックナンバーはこちらから▼

https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/publication/nadare_tayori.html



発行：国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター
住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町 2-6-8
TEL：0255-72-4131 FAX：0255-72-9629
<https://www.pwri.go.jp/team/niigata/top.html>



掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により、内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承ください。